

令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 ティーチング・ポートフォリオ

記入日	年度当初 7月 1日 / 年度末 2月 27日
氏名	大橋英子
子ども学科	教授
学科以外の兼務職	

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の5つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会やFD委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

各教員が記入したティーチング・ポートフォリオは本学ホームページにて3年間公表します。

1. 責務 (何を行っているのか)

①担当科目

担当科目名	学科	学年
保育実習Ⅰ	子ども学科	1
保育実習指導Ⅰ	子ども学科	1
保育実習Ⅱ	子ども学科	2
保育実習指導Ⅱ	子ども学科	2
乳児保育Ⅰ	子ども学科	1
乳児保育Ⅱ	子ども学科	1
幼児と言葉	子ども学科	1
保育内容「環境」	子ども学科	1
子ども家庭支援論	子ども学科	2
絵本の世界Ⅰ	子ども学科	1
絵本の世界Ⅱ	国文学科	1

②担任制度

担任(1年生)	有	担任(2年生)	有
---------	---	---------	---

③委員会活動

運営協議会		SD委員会	
研究倫理委員会		地域連携委員会	
危機管理委員会		入学者選抜委員会	
自己点検・評価委員会		広報委員会	
認証評価準備委員会		高大接続・連携委員会	
図書委員会		保育・教育実習運営委員会	委員
学生委員会		ハラスメント防止委員会	委員長
障害学生支援・学生サポートセンター運営WG		教員資格審査委員会	委員
キャリア支援委員会		教員採用選考委員会	委員
教務委員会		湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD委員会		授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会	委員	紀要編集委員会	
学生調査委員会		教職実践演習運営委員会	
教学調査委員会		学長推薦選考委員会	委員
不正調査委員会		衛生委員会	

④実習業務

保育実習部会長	担当	小学校部会長	
幼稚園実習部会長		子ども学科 実習事務	

⑤びわ湖東北部地域連携協議会

* 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ3 地域社会への貢献プラットフォーム型

協議会員		WG-A (産業振興に向けた産官学連携事業) 学内代表	
協議会事務局		WG-B (地域コミュニティの活性化事業) 学内代表	
WG-D (事業管理) 学内代表		WG-C (地域を担う次世代人材の育成) 学内代表	

⑥外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	有	無
--------	---	---

助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額（期間中合計）	
研究課題	
備考（分担者等）	

2. 理念（どのような考えに基づいて行っているのか）

教育理念	学園創設者松本富士之助「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・目標	【子ども学科】 幅広い知見と豊かな教養を備え、子どもに関わる専門的な知識・技能と実践力を修得し、向上心や探究心をもって保育・教育の分野に広く携わることのできる人材の育成
個人の教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理観に裏付けされた専門的知識・技能を身に付け、保育現場で求められる実践的指導力のある保育者を養成していけるように理論と実践の往還を意識した授業を行う。 ・保育者としての責務を理解し、他者と協働・連携し、保護者の支えとなり、子どもの最善の利益を追求できる保育者を養成する。 ・修得単位が少ない学生・欠席の多い学生、を早期に見つけ、意欲をなくさないようにし、一人一人が充実した学生生活を送り、成長と自立ができるように教職員と協働しながら学習支援や生活支援を行っていく。

3. 方法（その考えをどうやって実現しているか）

授業	<p>○「規範の理解と専門職としての自覚」を重点に置いた授業を行い、保育者が遵守すべき、全国保育士倫理綱領の読み込みをし、子どもの最善の利益やその他の8項目を理解させていく。知識としての理解に加え「自分事」としてとらえるための事例を通して判断基準を養うように努める。</p> <p>○模擬保育授業においては、ルーブリック評価を取り入れ、自己評価・他者評価を行い、振り返り・課題・気づきを重点にした授業を行い、保育実習に反映できるようにした。</p> <p>○GPA 下位の学生には、個別支援指導を行う。指導案の作成・実習日誌の記録の取り方等特に苦手意識や困難感をもつ学生に対しては個別指導を行うなどできる限りの学習サポートを行う。</p> <p>○絵本士資格を学生に取得させることは、将来保育者を目指す学生にとって有意義であるため、絵本士資格を取得するように促していく。認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドラインに基づき、多様なジャンルの絵本の紹介、作者の思い、出版者の方の立場などの学びを深めるようにゲストスピーカーを迎える。</p>
授業以外 (学生支援等)	<p>○教育・保育実習に先立ちインターンシップの機会や子育て支援事業への参加など実施し、学生たちが現場で働くイメージを膨らませながら、免許取得に意欲が持て保育士養成の理解が深まるようにする。</p> <p>○学生が主体的に「ぶんぶんひろば」を開催できるように「子ども学科の時間」を有効に活用し、安全・安心な環境構成の準備ができるようにサポートしていく。</p> <p>○高大連携授業では高校生に対しての授業など行い、保育者や教員への関心や魅力、など知ってもらえるように演習を交えた楽しい授業を行う。</p>

4. 成果（その方法を行った結果、どうだったか）

授業	<p>○保育実習や演習を通じて生きた倫理観を学べることができた。学生が直面する規範の倫理に対しては具体的な助言を行うことで専門職としての自覚を高めることができた。</p> <p>○模擬保育では、自己評価・他者評価をすることで、自らの保育実践を見つめることで新たな気づきを見出すことができた。学生からは「学生相互の評価をしたことで自らの保育を改善できた。」という声が多かった。</p> <p>○保育実習においては、子どもだけでなく親や様々な職員さんと人間関係を築いていく必要</p>
----	--

	<p>がある。社会人としての接遇マナーが求められるため、人と接する時のマナーを今後、もう少し取り入れていく。</p> <p>○絵本士の授業を受ける前の学生アンケートでは「絵本が好き」とか「資格を取りたい」など応えていたが、15回の講座後では、「子どもも大人にも、もっと絵本の魅力を伝えたい」「お話し会を企画したい」「絵本への関心が一層深まった」などが書かれていた。学生は絵本に対する意識や考え方が変わり、子どもだけでなく保護者や地域にも伝えたいという気持ちが高くなった。</p>
授業以外 (学生支援等)	<p>○定期的な面談を含め、呼び出し面談、実習などの不安解消面談、学習支援など学生生活全般についての悩みや不安などを聞き、随時対応してきた。学生理解を深める大切な場となり、学習意欲の向上が図れた。</p> <p>○公務員就職試験合格者全員に対して、仕事への不安軽減のサポート面談を行った。個々に様々な不安を抱えていること、また、安易に考えていること等もわかった。誰もが生き生きと働けるように、現場での経験をいかしたアドバイスを行った。学生は、仕事に対する責任感を感じながらも保育者としての仕事に期待を持ったのではと思った。</p> <p>○ぶんぶんひろば開催は、安心・安全な環境構成など、授業で学んだ知識・技能をフルにいかすことができる実践の場となった。また、「ながはまコミュニティカレッジ学園祭」にボランティアとして参加したことは充実感を味わい、保育士への道への意欲がより高まった。</p> <p>○高大連携（北星高）での授業を通して「保育実習への心構え」などの授業を行った。</p>

5. 目標（今後どうするか）

授業	<p>○「保育士倫理綱領」の理解につとめ、規範意識と専門職としての自覚を養っていく。</p> <p>○保育者の道を志し、入学してきた学生の潜在的な力を引き出せるように、そして免許取得につなげ保育現場で活躍できるように、一人一人にそった学習支援をしていく。また、実習に関わる教員と連携して学生への学習支援において協働していく。</p> <p>○保育者としての専門性の理解を促し、子どもの保育だけでなく「子ども家庭支援」の重要性を理解させていく。</p> <p>○意欲の持続向上を図るために、実習の振り返りを少人数、あるいは個別に丁寧に行っていく。</p>
授業以外 (学生支援等)	<p>○保護者支援は保育者に課せられた責務である。本学の子育て支援事業「ぶんぶんひろば」は、唯一、子どもや保護者と関わることによって子どもの成長・発達を実感する場である。今後も、定期的に子どもや保護者と関わることで学びの意欲を高め、自信をもって実習に臨める機会をつくっていく。また、「ぶんぶんひろば」だけでなく地域の子育て支援の現場にボランティアとして入れる機会をできるだけつくる。</p>

6. 記載内容に関する根拠資料

- ①令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 シラバス
- ②令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 科目別成績分布状況
- ③令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 担任一覧表
- ④令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 委員会構成名簿
- ⑤令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 組織図